

SHUNCIHI

2015
No.525

新地 3

広報

新地が好きだから——



【新地町の4年を振り返る】

東日本大震災 復興の軌跡

津波被害を受けた
海岸の復旧工事の
安全祈願祭と着工
式が行われました。



海岸災害復旧工事着工

第1回なんだかんだ言ったって やるしかねえべ祭

震災の影響により「遊海しんち」
が開催できないため町を活気づ
けようと商工会青年部の皆さん
が企画した祭り。



◀◀ 2 年 ◀◀ 1 年

8月6日
第1回なんだかんだ言ったって
やるしかねえべ祭

12月22日
環境未来都市に選定

1月24日
第一次新地町復興計画策定

1月26日
明治大学と復興支援協定を締結

4月8日
常磐自動車道

南相馬〜相馬間が開通

1月23日
海岸災害復旧工事着工

3月13日
国立環境研究所と

復興と環境都市で連携・協力を
関する基本協定締結

5月8日
横浜市と盛り土用土砂の提供を
受ける協定を締結

10月11日
試験操業でシラス水揚げ

8月20日
防災集団移転

富倉団地宅地を引き渡し

11月6日
被災高齢者共同住宅竣工

12月4日
和歌山県みなべ町と災害時の
相互応援協定を締結

震災からの復興に向けて明
治大学と復興支援に関する
協定を結びました。



明治大学と復興支援協定を締結

2011年3月11日に発
生した東日本大震災から4
年が過ぎようとしていま
す。私たちは、あの忌まわ
しい災害に奪われた日常を
取り戻すべく、現在もなお、
一丸となつて町の復旧復興
に取り組んでおり、これま
で進んできた道には、しつ
かりと復興への軌跡が刻ま
れています。

これまでの軌跡と これからの歩み

震災直後の苦しい避難所
生活乗り越え、仮設住宅
に入居できたと、ほっと胸
をなでおろしたこともあり
ました。現在ではさらに、
多くの方が仮設住宅から防
災集団移転団地や災害町営
住宅などの新たな「我が家」
を再建し、新しい生活を始
めています。

津波により壊滅的な被害
を受けた相馬港も、4号ふ
頭では、LNG基地建設に
向けた工事が進み、5号ふ
頭では、相馬共同火力発電

防災集団移転富倉団地宅地県内で初めて行われ、津波で被災した方々の住宅再建が始まりました。



富倉団地宅地引き渡し



新地 I C 開通

常磐自動車道、山元—相馬・南相馬—浪江間がつながることに伴い新地 I C が開通しました。



釣師防災緑地着工

津波で被災した沿岸部に計画している釣師浜防災緑地の工事が着工し土砂が相馬港から運び込まれました。

3 年

12月17日

滋賀県竜王町と災害時の相互応援協定を締結

2月28日

新地駅周辺を含む新地町における復旧・復興整備事業の起工式

3月7日

復興応援隊活動開始

3月10日

渡辺病院開院

3月24日

なごみの里福田オープン

3月26日

釣師浜防災緑地着工

5月15日

常磐線着工

8月6日

福島県トラック協会相双支部と災害時における支援物資の物流に関する協定を締結

10月5日

どんぐりプロジェクト 植樹祭

10月9日

みちのく潮風トレイル開通除幕式

12月6日

常磐道 新地 IC 開通

11月13日

相馬 LNG 基地起工式

3月1日

常磐道全線開通



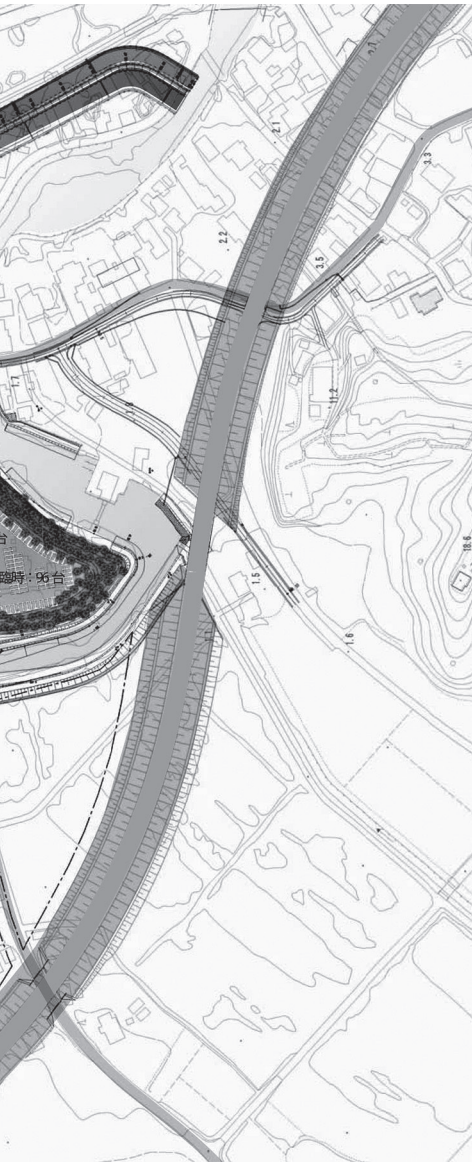
どんぐりプロジェクト植樹祭

釣師浜防災緑地にどんぐりやクヌギなどを植樹しました。約 1400 本の苗木が 400 人の参加書者によって植えられました。

(株)新地発電所の新たな取り組みとなる、木質バイオマスを使用した発電のための燃料を積んだ輸送船が入港するなど、震災以前よりもさらに活発化し、重要性を高めています。

3月1日には常磐自動車道で、新地 I C を含む全線が開通し、東京や仙台方面からのアクセス環境が大きく変わりました。また、JR 常磐線の復旧工事も着々と進められており、新しいルート上では、一部高架式となるため、その橋脚の設置が始まっています。

常磐線新地駅の再建とともに、新たな駅前開発や防災センターの機能を持った消防新地分署の移設、防災緑地の整備など、東日本大震災で失った町を取り戻すため、今後も、私たちは復興への歩みを進めていかなければなりません。



新しく生まれ変わる 町の沿岸部

釣師防災緑地

町の新たな 賑わい拠点

町では、震災の津波により被害を受けた釣師地区（約17ヘクタール）に、防災緑地を計画しています。

この緑地は津波減災機能だけでなく、町の新たな海辺の賑わい拠点として、人々が集い、こどもたちが笑顔で遊べる場、そして震災の記憶を後世に伝える場としての機能も備える予定です。ワークショップを開催するなど住民の皆さんの意見を反映させながら、平成29年春の完成を目指し、計画を進めています。

左図は釣師防災緑地の構

想図です。

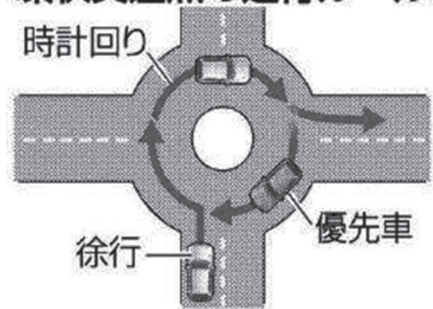
海側は、盛土とクロマツ林により津波減災機能を高めます。町民が集まり祭り、イベントが行える「みんなの広場」や、子どもたちのアイディアを参考に、船やタコ、ほつき貝など新地らしい遊具を設置する「子どもたちの広場」、公園全体が見渡せる「想いの丘」も設けられます。

環状交差点設置

釣師防災緑地中心部、県道と町道が交わる交差点は、県内では初となる環状交差点（ラウンドアバウト）を計画しています。

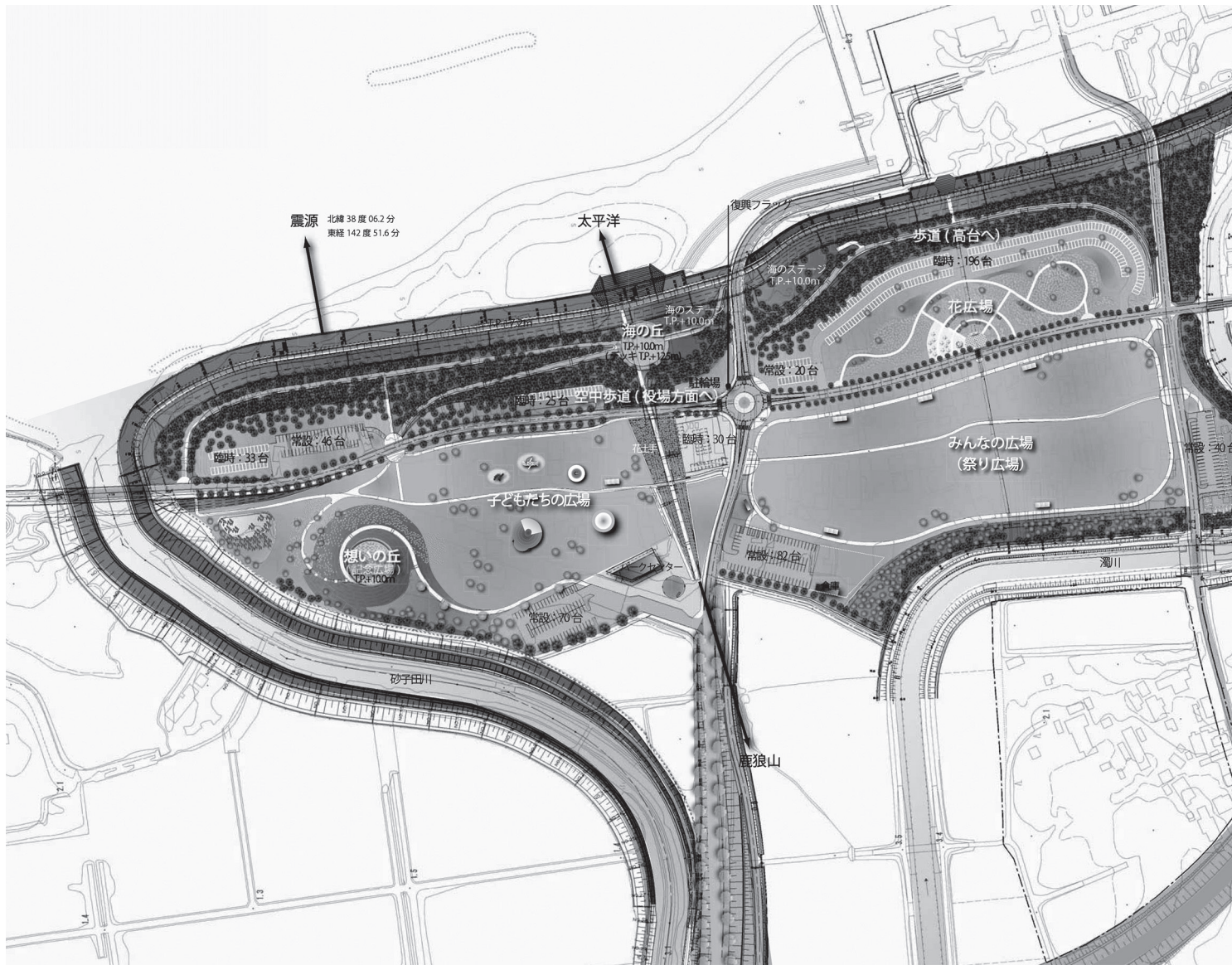
環状交差点は、信号機が必要としないため停電の影響を受けず、防災に強いとされ、直進ができないため大きな交通事故の減少につながります。そして観光面でも防災緑地を印象づける景観ポイントとして期待されています。

環状交差点の通行ルール



どんぐりから苗木を育て海辺の森を作ろう!!」を目標に進めている計画です。海側はクロマツが主体となりますが、内陸側は潮風に強い樹種の広葉樹とし、地域性のある緑地づくりを目指しています。

昨年10月に行われたどんぐりプロジェクト植樹祭では、防災緑地の南西に約1,400本のどんぐりから育てたクヌギなどの苗木を植樹しました。また、町と災害時相互応援協定を結び、職員を派遣していただいている和歌山県みなべ町の特



ど ん ぐ り 育 て 隊

防災緑地に植樹するどんぐりを育てるどんぐり育て隊を募集します。

日時 3月15日(日)

集合場所 町役場復興推進課前駐車場

10時～11時(予定)

作業概要

どんぐりの植付けを行い、それを自宅に持ち帰り、育てていただきたいと思います。

服装等 汚れても良い格好

参加条件

- ・植えたどんぐりをご自宅等で約15ヶ月間育てていただける方。
- ・1人当たり20ポット/1ケースを基本とします。(数に限りがあります)
- ・個人、団体、企業等は問いません。

申込期限 3月13日(金)

◎申し込み・問い合わせ 復興推進課 (☎②111) 代表

釣師防災緑地に「みんなで

どんぐりプロジェクトは

どんぐり プロジェクト

産の南高梅の苗木10本も植樹しました。引き続きプロジェクトを進めていく予定です。

人と人をつなぐ

震災を風化させない

震災後、はじめて通常どおり発行ができた平成23年広報しんち7月号で使用した寄せ書き入りの国旗。4年の時が過ぎた今でも、様々な歴史を刻み釣師地内で力強くなびています。

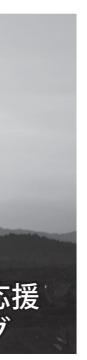
復興フラッグの 始まり

ばされたりしつつも力強くはためき、2代目、3代目と引き継がれてきました。

バイク愛好家が 掲げた応援旗

東日本大震災、新地町では震度6強の揺れに見舞われ、大津波が沿岸部の家屋を飲み込み、集落を壊滅状態にしました。復旧のため駆けつけた自衛隊員が、ガレキの中から一枚の日の丸を見つけ、それに応援メッセージを書き込み、浜近くの交差点に掲げたのが「復興フラッグ」の始まりです。その旗は、雨風にさらされ傷んだり、強風に吹き飛

平成26年元旦、バイク愛好家でもある一人の町民が仲間呼びかけ、住民達の笑顔をイラストで描き、「がんばろう！新地」と復興を願うメッセージを記した4代目復興フラッグを掲げました。さらに、インターネットで交流サイト『復興フラッグの下へ…』を立ち





現在の復興フラッグが掲げている交差点の震災前の風景



二番目に掲げられた新地への応援メッセージが書かれたフラッグ



二代目が風化し、引き継がれた三代目のフラッグ

上げ、ライダー仲間

フラッグの情報を発信しまし

た。この行動には、震災前、震災後、そして防災緑地に生まれ変わってからも、多

くの人々に足を運んでもら

い、そして新地町を応援し

てもらいたいとの願いが込められています。

全国各地の仲間がフラッグに想いを寄せる

震災後、被災地に足を運ぶことが出来ない人達が沢

山居る中で、フラッグのも

とには多くのライダーが訪

れ、町で海岸清掃に取り組むボランティア「しんちビーチク隊」と活動を共に

したり、町の植樹祭に参加するなど、人と人との繋ぎ、震災を風化させない役割をフラッグは担っています。

沿岸で進む復興工事に伴い、フラッグの掲揚存続が危ういと考え、去る11月17日、釣師防災緑地に生まれ変わった先も継続して掲げられ、訪れた方々が集い、賑わう場所になることを願

た。

皆が笑顔で

集う場所に

これから先も、釣師防災緑地で様々なストーリーが作られ、町が復旧・復興を遂たとき、皆が笑顔で集う場所になること期待し復興フラッグを見守ります。

復興のシンボルに――

釣師浜防災緑地に存続

バイク愛好者らによる「復興フラッグ」の存続要望を受け、町では1月26日、「後世に語り継ぐ復興のシンボルとして、釣師浜防災緑地内に存続に向けた環境整備を進めてく」という回答書をフラッグの管理者である松浦信明さんに手渡しました。





2014年度グッドデザイン賞 マイタウンマーケット

2014年度グッドデザイン賞を受賞したマイタウンマーケット実行委員会のみなさんが2月1日、町役場を訪れ、加藤町長に受賞を報告しました。



2011年7月から行われてきたマイタウンマーケットは、住民の皆さんや子ども達が中心となり「手作りの町」を作り出してきました。

全国学校給食週間 おにぎり給食

全国学校給食週間に伴い1月26日、町内の小中学校で特別メニューを実施しました。

駒ヶ嶺小学校6年生は「スーパー食育スクール」食育講座(11月28日)で漬けた梅干しを入れて、



自分でおにぎりを作りました。児童たちは笑顔でおいしそうにほおばっていました。

賀寿贈呈式 百歳を迎えた千葉まさ子さん

百歳を迎えた千葉まさ子さんの賀寿贈呈式は2月17日、なごみの里福田で行われました。

式では加藤町長、目黒議長、水戸町老人クラブ



連合副会長、佐藤博県相双保健福祉事務所長から記念品や祝い金が贈られ家族、町関係者らが千葉さんの長寿を祝いました。

東北電力とユアテックから町へ 防犯灯 11 灯寄贈

町では、東北電力(株)相双営業所と(株)ユアテック相双営業所から防犯灯11灯の寄贈を受けました。



東北電力相双営業所星所長とユアテック相双営業所井戸川所長が2月6日、町役場を訪れ加藤町長に目録を手渡ししました。

味菜ひろば よりみち

地元農産物や加工品など新地の魅力を発信



農産物直売所「味菜ひろば よりみち」が2月8日、JAそうま新地総合支店南側に開店しました。

「よりみち」はJAそうま女性部新地支部が運営する農産物直売所で、地元農産物や加工品などを販売します。

オープンに先立って行われた開所式では、星百合子JAそうま女性部新地支部長、林ナミ子「よりみち」農産物直売部会長、加藤憲郎町長ら関係者によるテープカットが行われました。

加藤町長は「地元のさまざまな農産物と、新地町の元気を発信してほしい。町内外の方の憩いの場となることを期待しています」と祝辞を述べました。

地区農業座談会

地域農業について話し合い

地区農業座談会が2月17日から19日にかけて町内3カ所で行われました。

地域農業の担い手、新規就農者など人と農地の問題を解決するため「未来設計図」人・農地プランの作成に向け、農業者に聞き取りや話し合いを行いました。



2015福島県柔道選手権大会

少年団体の部3位入賞

福島県柔道連盟、福島民報社、福島テレビ主催の2015福島県柔道選手権大会は2月2日、郡山市の西部第二体育館で開かれました。



同大会に出場した町柔道スポーツ少年団は、少年団体の部で3位入賞という成績を収めました。

スポーツ激励金交付式

選手の活躍に期待

町では、2月9日と23日に各種大会に出場する団体に文化スポーツ激励金を交付し、大会での健闘を祈りました。

スポーツ激励金の交付を受けた団体は次のとおりです。

カテナチオ

(郡山カップ第9回福島県フットサル選手権大会 一般の部)

新地ジュニアバレーボールクラブ

(第24回福島県小学生バレーボール新人大会)



ボランティア植樹

ふくしま浜街道・桜プロジェクト

浜通りの国道6号沿いを桜で彩る「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」が2月22日、新地町で行われました。



新地高校の生徒など約80名の方が参加し国道沿いの土手に桜を植樹しました。



相馬共同火力発電

二酸化炭素の削減に貢献

相馬共同火力発電新地発電所では3月上旬から、木質バイオマス燃料を石炭に混ぜて試験発電することを発表しました。

年間最大14万トンの木質バイオマスを石炭に混ぜて発電することにより、二酸化炭素の排出量を年間最大約23万トン削減できます。



図書館へ行こう

Let's go to Library

=新着本のご案内=

3月の読み聞かせ会

日時 3/14(土) 11時～

図書館ボランティア「スイミー」のみなさんによる絵本の読み聞かせなどを行います。

◎一般書

『三成の不思議なる条々』

岩井 三四二



関ヶ原の合戦から30年。亡き石田三成を知る人々を訪ね歩く町人がいた。敵対武将の家臣、三成の小姓…。多種多様の視点で暴かれる三成の素顔とは？そして町人が受けた「密命」とは？『小説宝石』掲載を改題、加筆修正。

『透明カメレオン』

通尾 秀介



冴えない容姿と“特殊”な声を持つラジオのパーソナリティの恭太郎は、行きつけのバーで奇妙な女の子に出会う。彼女の企てた「殺害計画」に参加することになった恭太郎だが…。学芸通信社配信『信濃毎日新聞』等掲載を書籍化。

『贅沢のススメ』

本城 雅人

『闇から届く命』

藤岡 陽子

『パノララ』

柴崎 友香

『ゆるい生活』

群 ようこ

『今日も一日きみを見てた』

角田 光代

『92歳 まだやりたいことばかり』

近藤 富枝

『50代になって気づいた人生で大切なこと』

香山 リカ

『明日へのタックル！』

吉田 沙保里

『福島之法則』

『ズボラでも中性脂肪とコレステロールがみるみる下がる47の方法』

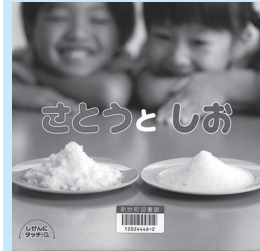
『1万円でできる！ ベランダでできる！ 独立太陽光発電所の作り方』

『トイレ上手な子どもになれる本』

◎児童書

『さとうとしお』

ひさかたチャイルド

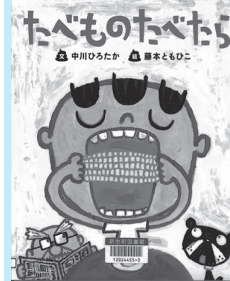


どの家庭にも常備してある砂糖と塩。見た目がそっくりな2つの調味料の違いを、味、熱を加えたときやお湯に溶かしたときの反応、結晶の形、作り方、使い方などを通して紹介します。

『たべものたべたら』

中川 ひろたか／文

藤本 ともひこ／絵



昨日食べたとうもろこしが、今日のうんこに出てきた。どうしてかな？古いものを食べたらなぜ吐いたり下痢したりするの？食べ物で消化・排泄するしくみを紹介する絵本。

『妖怪きょうだい学校へ行く』

富安 陽子／作 山村 浩二／絵

『3Dアートえほん ふしぎな階段』 永井 秀幸

『万次郎 ー地球を初めてめぐった日本人ー』

岡崎 ひでたか／作 篠崎 三朗／絵

『ゆうれい回転ずし ーたまご焼きのひみつー』

佐川 芳枝／作 やぎ たみこ／絵

●CD

『PLANET SEVEN』

三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE

『歌姫4 ーMy Eggs Benedictー』

中森 明菜

『NHKおかあさんといっしょ』

最新ベスト「みんなのリズム」

『image 15 emotional & relaxing』

●DVD

『ふるさと再生 日本の昔ばなし』

ヤマタノオロチ、町のみずみと田舎のねずみ、一足千里のわらじ 笠地蔵ほか全33話

『3日で踊れる！簡単・社交ダンス』

『これが正しいラジオ体操ーたった3分で若さ復活！ー』

図書館カレンダー（3月）

	月	火	水	木	金	土
					6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■は休館日



携帯電話用QRコード

保育所から
こんにちは
福田保育所

集団あそび
たのしいね！

外で長い時間遊ぶことのできない寒い季節、保育所では、室内での遊びも楽しめるように工夫しながら過ごします。

子どもたちが集まって、昔ながらの「はないちもんめ」「かごめかごめ」「なべなべそこぬけ」などで、大きな声を上げ、元気いっぱい遊んでいます。鬼になったり、つかまつったりすると大盛り上がり！
友だちと触れ合いをしながらの集団あそびは、あつという間に子ども達の心をとらえて、みんなのお気に入りの遊びになります。
声をそろえてうたった

わらべうたでつながろう！

り、スキンシップをすることで、心と心が通い合っているよ
うで、楽しいですね。

触れ合いを大切に！

日本には、昔から語り継がれている「わらべうた」があります。

ゆったりしたりリズムで、お父さんやお母さんと触れ合いながら過ごすひと時は、心が穏やかになり、ぬくもりを感じるあたたかなひと時です。



わらべうた遊びは、親子で触れ合いながらあそぶので、子どもは親から愛されている実感をもつことができます。

お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、家族みんなで触れ合いを楽しんでみてはいかがでしょうか。今まで気付かなかった、新しい親子の遊びが発見できるかもしれませんね。

子どものつばやき
A子「昨日ね、お家で、アイスパーティーしたの！」
保育士「いいな！先生もしようかな！」
B子「ご飯ちゃんと食べてからやりなさいよ！」

母と子の健康 (3月)

健康診査	対象者	日時 (受付時間)
母子手帳交付	妊娠とわかったら、なるべく早く母子手帳の交付を受けましょう	3月6日、20日 9:00~10:00
3か月児健診	26年10月19日~12月27日生まれ	3月18日(水) 12:20~12:30
離乳食相談会	26年7月~10月生まれ	3月10日(火) 9:45~10:00

◎問い合わせ 保健センター (☎2096)

※乳幼児健診の際には、『母子手帳』『バスタオル』『問診票』を持参してください。当日体調が悪い場合や、都合の悪い方は、保健センターにご連絡ください。

3月

福田保育所
3日(火) ひな祭り誕生会
11日(水) お別れ会
20日(金) 育児相談
27日(水) 満了式

駒ヶ嶺保育所
3日(火) ひな祭り誕生会
13日(金) お別れ会
20日(金) 育児相談
27日(金) 満了式

新地保育所
3日(火) ひな祭り誕生会
12日(木) お別れ会
27日(金) 育児相談
満了式

東日本大震災 新地町追悼式

町では、東日本大震災で亡くなられた方々を追悼し、ご遺族や町民の皆様とともに、町の復旧・復興への決意を誓うため、震災から4年となる3月11日に、追悼式を開催します。

日時 3月11日(水) 14時30分～

会場 町農村環境改善センター

次第 14時30分 開式

14時30分 政府主催の追悼式を中継放送

14時46分 黙祷

式辞・追悼の辞

献花

閉式

その他 無宗教・献花形式で執り行われます。

◎問い合わせ 総務課 (☎②2111)



復興応援隊だより



震災から4年

今月で震災から満4年を迎えます。被災した町の様子は大きく変わりました。防災集団移転団地では住宅建設が進んで多くの方が新たな暮らしを始め、新地駅前や防災緑地の造成が進む沿岸部も目にするたびに変化しています。

町の皆さんと接する中で、震災当時のお話を伺う機会もたくさんありました。これまでの4年間の暮らしや経験は人それぞれであり、復興やまちづくりに対する思いも様々なんだと気づかされます。その中で多くの方が口にするのが、次の世代を担う子どもたちのために復興を進めたい、よりよい町にしていきたいという思いです。

子どもたちともワークショップやまちづくりの授業を通していろんな声を聞いてきました。

都会に憧れを持ちつつも自分たちなりの視線でふるさとを捉えています。鹿狼山は町のシンボルとして大切にしたい、きれいな海を取り戻したい、福田十二神楽や昔話を後世に残したい…そんな思いを口にする子どもも少なくありません。大切にしたいという思いの根底には、きっと大切な思い出があるのだと思います。

新地の復興を願い、よりよい町にしたいと思うのはみんな同じです。小さな町だからこそ、町民1人1人が年齢や立場を越えて、手を携えて行動していくことが大事ではないでしょうか。

復興支援員 橋森公亮

新地町復興応援隊は「震災からの復興に向けたまちづくり」をサポートしています。

事務所：新地町谷地小屋萩崎 74-1 支援員事務所

連絡先：fukkou@miraito.info

暮らしの情報



臨時職員を募集

町教育委員会では、次のとおり臨時職員を募集します。

臨時調理員

募集人員 若干名

応募資格 調理師又は栄養士の資格を有する方。(平成27年3月末日までに資格取得見込みの方を含む)

勤務時間及び賃金

8時～16時30分

6,600円/日

勤務場所 町内小学校

学習支援員・介助員

募集人員 若干名

応募資格

学習支援員 養護教諭または小学校、中学校教諭の資格を有する方

学習支援補助員 学習支援

や特別支援を援助できる方

介助員 肢体不自由児童を

介助できる方

勤務時間

8時～15時(学習支援員・補助員は週4日、介助員は週5日)

賃金

学習支援員

2,000円/時間

学習支援補助員

1,500円/時間

介助員

1,500円/時間

勤務場所 町内各小中学校

◆共通事項

雇用期間 4月6日(月)から

9月30日(水)(ただし、この

期間を更新する場合があります)

選考方法

書類審査、面接

町内の空間線量率調査結果

町では、町内24か所で放射線量の独自調査を行いました。2月10日の測定結果は次のとおりです。

(μ Sv/h)

	測定場所	地表面	測定値
1	福田小学校	土	0.05
2	福田保育所	土	0.05
3	木崎公会堂	土	0.13
4	新地北工業団地	砂利	0.10
5	鈴宇峠県境	砂利	0.16
6	沢口ふれあい広場	芝	0.07
7	狼沢集会所	土	0.15
8	新地小学校	土	0.04
9	尚英中学校	土	0.05
10	新地保育所	土	0.05
11	鹿狼山登山口駐車場	砂利	0.15
12	今泉農集排処理場	砂利	0.08
13	総合公園こどもの森	芝	0.08
14	新地浄化センター	芝	0.14
15	岡公会堂	舗装	0.06
16	杉目集会所	舗装	0.09
17	大戸緑地広場	舗装	0.09
18	新地町役場	舗装	0.08
19	菅谷公会堂	土	0.17
20	駒ヶ嶺小学校	土	0.05
21	駒ヶ嶺保育所	土	0.05
22	大沢北国道113号県境	砂利	0.11
23	藤崎公会堂	砂利	0.12
24	富倉公会堂	舗装	0.07

※測定は月1回(第2火曜日)、地上1m
(3保育所は50cmの高さ)

募集期間

3月5日(木)～3月20日(金)

申込手続 履歴書を町教育

委員会まで提出してください。

◎問い合わせ

町教育委員会(☎②4477)

東日本大震災行方不明者 沿岸部などを 搜索しています

東日本大震災から、まもなく4年となります。相馬

警察署では消防、海上保安

庁などと連携して、沿岸部、

ガレキ集積場などを搜索

し、震災で行方不明となつ

た方々の発見に努めてまい

りました。

県内では、今なお204

名の方々が発見に至ってお

りません。

県警察は、今後も全員の

発見に向けて搜索活動を継

続してまいります。

地域の皆さまから「ここ

を重点的に搜索して欲しい

」などのご意見、ご要望

がございましたら遠慮なく

お知らせください。

◎問い合わせ

相馬警察署(☎③3191)

環境美化運動にご協力をお願いします

町内一斉の環境美化運動を実施します。みなさんのご協力をお願いします。

日時 3月29日(日)6時～7時

※雨天の場合は4月5日(日)に延期

◎問い合わせ 町民課(☎②2116)

公立相馬総合病院 外来診察室の 場所が変わります

新病棟の完成により、3月16日(月)から内科、外科、整形外科、婦人科、脳外科の外来診察室と、人工透析室が新病棟に移ります。

また、受付・会計窓口と、再来受付機も新病棟に移りますので、受付の際は、ご注意ください。

何かとご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

◎問い合わせ
公立相馬総合病院
(☎36)5101)

常磐線復旧事業に係る 特定環境影響評価事後 調査報告書の 縦覧のお知らせ

常磐線(駒ヶ嶺～浜吉田)復旧事業に係る特定環境影

響評価事後調査報告書の内容を縦覧します。

縦覧期間

3月10日(火)～3月24日(火)
8時30分～17時15分
(土・日・祝日を除く)

縦覧場所

復興推進課(役場西プレハブ)都市計画課(役場2階)

◎問い合わせ
復興推進課(☎62)2134)

あなたの自動車は 正しく登録 されていますか？

自動車税は、毎年4月1日(午前零時)現在で車検証上の所有者となっている方(割賦販売の場合は使用者)に課税されます。

自動車を下取りに出した場合や他人に譲り渡した場合、廃車した場合等には、平成27年3月31日までに必ず下記の運輸支局(軽自動車の場合は軽自動車協会等)で名義変更や抹消登録の手続きをお願いします。

これらの手続きが3月31日までに終了しない場合、前の所有者に課税されることとなります。

また、車の所有者の方がお亡くなりになった時にも、相続人の方への名義変更が必要となりますので必ず手続きを行ってください。

◎普通自動車税に関する
問い合わせ先

福島県相双地方振興局県税
部(☎26)1127)

◎軽自動車税及び原付バイク、トラクター等「新地町」ナンバーが付いている車両

に関する問い合わせ先
税務課(☎62)2119)

◎普通自動車の登録手続き
に関する問い合わせ先

国土交通省東北運輸局福島
運輸支局

(☎050)5540-2015)

◎軽自動車の登録手続きに
関する問い合わせ先

軽四輪 軽自動車検査協会
コールセンター福島事務所

(☎050)3816-1837)
軽二輪 125cc以上

250cc未満福島県軽自動車協会福島事務所
(☎024)546-2577)

小型二輪 250cc以上
東北運輸局ヘルプデスク福
島運輸支局

(☎050)5540-2015)

警察官A(特別募集)の お知らせ

平成27年10月1日の採用
に応じられる方

申込受付期間
3月13日(金)～4月10日(金)

第一次試験

日程 5月10日(日)

試験科目

教養試験・論文試験

受験資格

昭和56年4月2日以降に生まれた方で、大学(短期大学を除く)を卒業した方、又は平成27年度9月末日までに卒業見込みの方。

※平成27年9月末日までに卒業できない場合には採用されません。

◎問い合わせ

相馬警察署(☎36)3191)

春のバドミントン 講習会参加者募集

新地町バドミントン協会では、初級者向けのバドミントン教室を開催します。

日時 3月10日、17日、20日、24日、27日、31日の計6回

場所 尚英中学校体育館

参加費 一般200円・学生100円※費用は1回毎当日支払い

準備物

ラケット(貸出可)、体育館シューズ
※スポーツ安全保険に関しては各自での加入になります。

◎申し込み・問い合わせ

町バドミントン協会(☎090)4882-7839)

わくわくランド イベント情報

万華鏡をつくろう

日時 3月21日(土)・(祝)

10時30分～11時30分
13時30分～14時30分

開催場所 わくわくランド

多目的ホール

内容 工作キットを使って
万華鏡を作ります。

【直径4cm・長さ14cm】

定員 各回30名(計60名)

わくわくランド

発電体験&バスツアー

日時 3月22日(日)

10時30分～11時30分

13時～14時
14時30分～15時30分
開催場所 新地発電所構内
わくわくランド

内容 新地発電所構内を大
型バスで案内します。新地

発電所を紹介するDVDの

上映を行います。

発電機模型や手回し発電機

を使った発電体験や、発泡

スチロールペーパーを使っ

た飛行機を作ります。

定員 各回50名(計150名)

◆共通事項

参加対象 当日来館のお客

様(年齢不問)※未就学児

は必ず保護者の付き添いが

必要となります。

参加料 無料

受付方法 当日受付 ※各

回の開始30分前から受付と

なります。※定員になり次第

締め切りとします。

フラワーアレンジメント

入門教室

日時 3月29日(日)

10時30分～12時
13時30分～15時

場所 わくわくランド

多目的ホール

内容 季節の花を使って春

らしいフラワーアレンジメ

ント作りに挑戦します。

定員 各回30名(計60名)

参加対象 どなたでも参加

できます(年齢不問)

※10歳以下のお子様は必ず

保護者が付き添いとしてお

申し込みください。

講師 小畑 強子氏

(ママ) フラワーデザイン

スクール福島指定教室FD

A認定校)

参加料 無料

応募方法 往復はがきによ

る申込受付(応募多数の場

合は抽選)

【記入事項】

往信の裏面に、①氏名②年

齢③電話番号④希望時間帯

(午前・午後・どちらでも)

⑤参加人数を記入(①～③

は参加者全員分をそれぞれ

お書きください)

【宛先】

〒979-2611

相馬郡新地町駒ヶ嶺今神1

1

相馬共同火力発電株式会社

新地発電所 わくわくランド

「フラワーアレンジメント

入門教室」係

※3月21日(土)必着※はがき

1枚につき3名様まで申し

込み可能とします。※ご応

募いただいた方には3月25

日(水)を目安にご案内を返送

いたします。

◎問い合わせ

相馬共同火力発電株式会社

新地発電所内わくわくランド

(☎④4722)

誕生おめでとう

(平成27年1月21日～平成27年2月20日)

(子ども) (親) (地区)

かえで 楓 鈴木正人・礼美 下真弓

ふうが 楓 雅 荒 雅人・知穂実 新地町

えいと 瑛 斗 佐藤智記・ひろみ 釣 師

こうだい 洸 大 佐藤孝幸・ひとみ 深 町

いちろ 吉 路 杉村仁一郎・千秋 深 町

こな 心 那 森 晋弘・理香 富 倉

掲載を希望しない方は、
届出のときにお申し出ください。

ご冥福をお祈りします

(平成27年1月21日～平成27年2月20日)

(名前) (年齢) (地区)

半澤 敏子 81歳 鉄炮町

佐藤 國男 65歳 明 地

荒 チエ子 89歳 作 田

濱野 正則 62歳 新地町

佐藤 サダ 104歳 小 川

掲載を希望しない方は、
届出のときにお申し出ください。

人の動き

住民基本台帳

人口 / 7,965人 (-4)

男 / 3,955人 (-7)

女 / 4,010人 (+3)

世帯数 / 2,688世帯(+5)

2月1日現在()は前月比



「プロで活躍して、
新地町をPRしたい。」

—PROFILE—

【荒竜司選手】(あらりゅうじ)

22歳・169センチ

背番号23・右投げ左打ち・内野手

尚英中—相馬東高校—

茨城ゴールデンゴールズ—福島ホープス

新地町初のプロ野球選手

福島県初のプロ野球チーム「福島ホープス」の内野手で、新地町出身の荒竜司選手が2月9日、町内で自主トレをした後、町役場を訪れました。

加藤憲郎町長に近況を報告した荒選手は「プロで活躍して、新地町をPRしたい。体格が小柄でもプロ野球選手として活躍できると、新地町の子どもたちに見せたい」と意気込みを語りました。

加藤町長は「夢の実現を実践してくれた新地町の希望の星。ケガに気をつけて、ハツラツとしたプレーでチームを引っ張ってほしい。町をあげて応援しています」とエールを送りました。

福島ホープスは昨年、福島県民球団として設立され、プロ野球独立リーグのBCリーグに加盟しました。2015シーズンは4月に開幕し、県内外で行われます。

新地町初のプロ野球選手となった荒選手を応援しましょう！

駒ヶ嶺小学校でランニング教室

日清食品ホールディングス(株)の社会貢献活動プロジェクト「子どもたちの夢、応援します。東北の未来へRUN RUN!プロジェクト」は2月20日、駒ヶ嶺小学校で行われました。

日清食品グループ陸上部の安西秀幸選手と元村大地選手がランニング教室を通し、同小学校4・5年生に走ること、スポーツすることの楽しさや正しい走り方を指導しました。

児童に指導を行った安西選手(写真左)は「同じ福島未来を担う人間として一緒に頑張っていきたい」元村選手(写真右)は「すごい元気で楽しかった。僕たちが元気をもらって、よりいっしょに陸上を頑張っていこうという気持ちにさせてもらいました」と話してくれました。

